

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：9/10～9/14

・ 9/10(月)

北朝鮮の建国 70 周年記念式典、日本を巡る国際関係と自民党総裁選、スウェーデン総選挙、同時多発テロから 17 年などのトピックが報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いました所、日本を巡る国際関係と自民党総裁選についてはやや問題とされる箇所が見られました。また、北朝鮮の建国 70 周年記念式典、日本を巡る国際関係と自民党総裁選、スウェーデン総選挙の報道については検証者の所感を記しました。

・ 9/11(火)

被災地に流れるデマ、ふるさと納税、【追跡】障害者雇用水増しの手口、米朝関係、アントニオ猪木議員が北朝鮮から帰国、北海道震度 7 で地震調査委、アメリカ同時多発テロ 17 年 NY で追悼式典、天皇皇后陛下の動向などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、被災地に流れるデマについての報道は高く評価できるものでした。また、【追跡】障害者雇用の水増しの手口というテーマについては検証者の所感を記しました。

・ 9/12(水)

日朝関係 北方領土問題、自民党総裁選、沖縄県知事戦、トランプ政権暴露本、日中首脳会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、特に問題は見られませんでした。なお、自民党総裁選については他の放送日と併せての評価が必要であると判断されるものでした。

・ 9/13(木)

セリーナ決勝の言動に波紋、授業料国立初の標準超え、沖縄知事選告示、ボストーニク 2018、北朝鮮 ICBM 関連施設の解体を 38North が伝える、豊洲新市場で記念式典などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、授業料国立初の標準超えについての報道では放送法の観点から問題が見られるものでした。

・ 9/14(金)

北海道胆振東部地震と住民の怒り、自民党総裁選、トランプ政権と中間選挙、杉田水脈議員、捕鯨問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行った所、自民党総裁選については一部放送法に照らし合わせて問題のあるシーンが見られました。また同トピックについては公平という観点からは他の放送日と併せての評価が必要であると考えられました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年9月10日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：北朝鮮の建国70周年記念式典、日本を巡る国際関係と自民党総裁選、スウェーデン総選挙 同時多発テロから17年		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道地震</li> <li>・女子テニス大坂なおみ、日本人女子初の4大大会制覇</li> <li>・北朝鮮の建国70周年記念式典</li> <li>・日本を巡る国際関係と自民党総裁選</li> <li>・秋雨前線で各地大雨</li> <li>・体操協会のパワハラ問題</li> <li>・座間市9人遺体、東京地検立川支部が白石被告を強盗強制性交殺人などの罪で起訴</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> <li>北海道地震</li> <li>大坂なおみ</li> <li>スウェーデン総選挙</li> <li>26年ぶり岐阜で豚コレラ</li> <li>クリミア北部の工場から有毒ガス</li> <li>・天気予報</li> <li>・クロージング：同時多発テロから17年</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝鮮の建国70周年記念式典：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>北朝鮮の建国70周年記念式典について、軍事パレードではアメリカ本土を射程に入れるICBM大陸間弾道ミサイルは披露されず抑制的なものであったこと、マスゲームでは70年の歴史を表現する中で朝鮮半島をかたどった人形も作られ南北の融和が強調された一方で核やミサイルといった好戦的なイメージの言葉は使われず建国70年の節目の行事は外交を重視する北朝鮮の戦略が演出された形となったとのこと、式典の途中では中国ナンバー3の栗戰書特使と歓談し中国との親密さをアピールしたこと、などが報じられた。</p> <p>また、スタジオでは中継の井上記者との間で以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>雨宮塔子「平壤で取材中の井上記者に聞きます。今回の抑制的な姿勢を見ると北朝鮮が今後非核化について態度を軟化させるのではという見方もできると思いますが、井上さんはどんな印象を持ちましたか？」</p> <p>井上波「はい、私は3年前にも軍事パレードを取材しているんですが、そのときには核でアメリカを殲滅するという挑発的なスローガンばかりでした、ところが今回は嘘のように経済で明るい未来を作ろうというような前向きなスローガンが目立ちました。アメリカとの交渉を続けたいという意志の表れであることは間違いなさそう</p>		

ですがだからといって今後金正恩委員長が非核化について譲歩するかと言うとそんなに簡単ではないように思えます。北朝鮮は今回、我々海外メディアに工場や学校など様々な現場を見せて経済建設が順調に進んでいることを盛んにアピールしました。都合の良いところだけを見せていると言ってしまえばそれまでですが少なくとも経済の建設に本気で取り組んでいる姿勢は見えました。そうしたアピールにはただ話したいのではなく、対等な立場で話したいというトランプ大統領へのメッセージが込められている気がします。先ほど金日成広場では祝賀行事の最後を飾る学生たちによる松明行進が行われ自力更生というスローガンが広場に響き渡りました。自力更生にこだわる北朝鮮が対等に扱われていると感じられることができるか、それが今後の米朝交渉のカギを握ると言っても過言ではありません。以上北朝鮮の平壤からでした。」

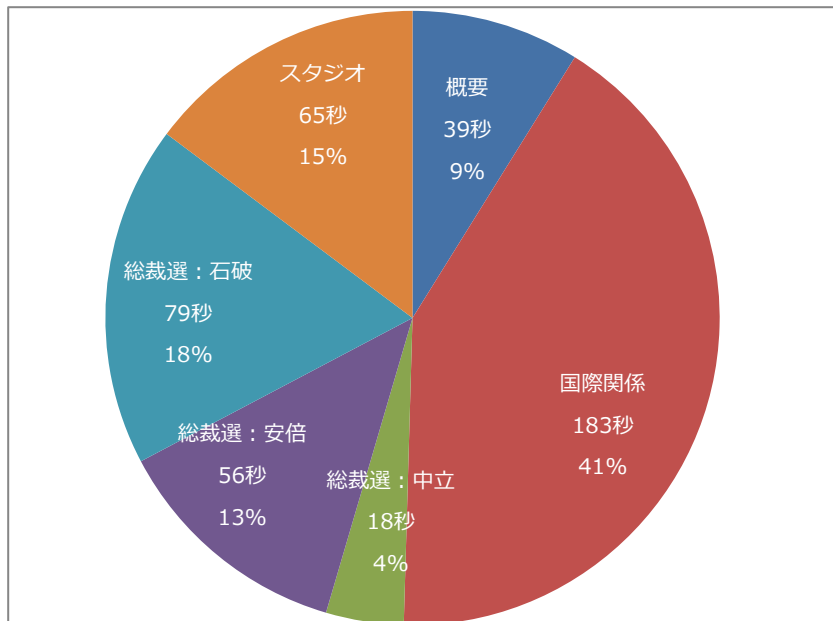
雨宮塔子「対等に扱われるかどうかということですが、一見、こう、米朝関係は上手く行っている用に見えますけどね。」

星浩「そうですね、トランプさんも『ありがとうキム委員長』と Twitter を出していますけど、これはまあ実は表向きの動きだけなんですね、日本政府の高官によりますと実はアメリカと北朝鮮の間では相当激しい応酬が続いていると言うんですね。それは、実はですね、アメリカは北朝鮮に要求しているのは、その核施設のリストを出せということ、それから非核化の工程表を示しなさいとかなり厳しい要求を出しているんですけども、北朝鮮の方はのりくらしとして明確な回答は先送りになっているんですね。こういう北朝鮮の態度にトランプさんがどう反応するか、実はそれがここしばらくの焦点になってくると思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 351 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・日本を巡る国際関係と自民党総裁選：やや問題

日本を巡る国際関係と自民党総裁選について報じられた。このトピックに当てられた時間は 440 秒で、総論的の説明、国際関係について、総裁選について中立的な場面、総裁選について安倍首相の主張を伝える場面、総裁選について石破元幹事長の主張を伝える場面、スタジオでのやり取り、という場面に大別された。それぞれの場面の時間配分と比率は以下の通りであった。



国際関係については以下に朱記したように伝えられた。

ナレ「先週、金正恩党委員長と階段下韓国特使団の徐薫国家情報院帳と面会した安倍総理、キム党委員長とのやり取りなどについて食わし説明を承けました。拉致問題の解決に向けて北朝鮮との交渉を模索する日本政府。徐薫院長によりますと、安倍総理は直接キム党委員長とあつて話す時になった、と述べ日朝首脳会談に向けた強い意志を示したということです。一方、徐薫院長は南北関係と米朝関係に加えて日朝関係も同時に並行して進められればもっとも望ましいと述べ、安倍総理も同意したということです」

雨宮塔子「そして、安倍総理は今夜、ロシアのウラジオストクで今回で 22 回めとなる首脳会談を行いました。懸案の北方領土問題など具体的な成果は出たのでしょうか。現地で取材している黒岩記者に聞きます。黒岩さん。」  
黒岩亜純「はい、明日から始まりますですね東方経済フォーラムの会場で行われた日露首脳会談の会見ですけれどもその後の会見では両首脳非常に前向きな姿勢を見せつつも、若干言動に微妙な差がありました。」  
プーチン大統領「(平和条約締結問題について) ロシアと日本の両国に受け入れ可能な解決策を探る用意があります。」

安倍総理「四島における共同経済活動の実践に向けた取り組みについては、それぞれのプロジェクトの実現に向けたロードマップを承認しました。」

ナレ「北方領土での海産物の養殖、温室栽培、観光などの五項目のプロジェクトについて安倍総理は作業の道筋がはっきり見えたと言いました。しかし、日本が力点を置きたいこの北方領土問題、更には北朝鮮との問題をめぐり内容についての表現には微妙な差がありました。安倍総理が具体的な内容に触れ、拉致問題に触れてですね、解決が不可欠だ、拉致問題の解決が不可欠だという点にプーチン大統領の理解と協力を得たと語ったものの、プーチン氏は朝鮮半島情勢について政治と外交分野の違いを解決するために努力していく、と述べるなど抽象的な言葉が続きました。また、会見で印象的だったのはプーチン大統領が時間をかけて語ったのは八項目の日露経済協力が象徴される日本と進む経済の成果です、そこにロシアの主眼があるもののロシアで活動する日本企業の中には、日露経済協力はビジネスチャンスを探るのではなく政府とのお付き合いと割り切る声も出てきています。ロシア側が力点を置く経済協力がどれだけ日本企業にメリットが有るのか、両政府が日本企業にもっと説明する時期に来ているのではないのでしょうか。以上ウラジオストクからでした。」

対して総裁選については以下に朱記した場面が取り上げられていた。

雨宮塔子「これに先立って国内では自民党総裁選告示後、初めて安倍総理と石破元幹事長が揃って会見に臨みました、明確になってきたのは二人の政策の違いです。」

安倍総理「生産年齢人口が、450 万人減少する中においても、経済は 12.2%成長した。そして、雇用は 250 万人増え、正規雇用も 78 万人増えました。」

ナレ「6 年に渡る政権運営の成果を立て続けに披露した安倍総理、今後は三年間書け、社会保障制度改革に取り組む考えを示しました。」

ナレ「対する、石破元幹事長は」

石破元幹事長「有効求人倍率、すべての都道府県において 1 を超えました、素晴らしいこと、であります。それでは働く人たちの所得は上がったのか、なぜ、可処分所得が下がり続けているのか、これが私は最大の問題だと思っております。」

ナレ「アベノミクスの問題点を指摘、地方の中小企業や農林水産業の活性化に政策の重点を移すべきだと主張し

ました。」

ナレ「もう一つ。大きな対立軸となったのが憲法です。」

安倍総理「自衛隊のみなさんがですね、誇りを持って任務を全うできる環境を作っていきたいと思っております。そのために我々は憲法に日本の平和と独立を守ること、そして自衛隊、しっかりと明記をしていきたい。」

ナレ「次の総裁任期中に憲法改正を実現したいとする安倍総理に。」

ナレ「石破氏は。」

石破「私ざーっと長い所国会の答弁に立ってきました。自衛隊違憲じゃないかという議論は一度もなかった。いま、違憲だって自衛隊を思う人は1割です。自衛隊にいい印象を持っている人は9割です。自衛隊の子どもたちが自衛官の子どもたちが、君のお父さん自衛官なんだってね、誇りを持って胸を張る時代、です。」

ナレ「安倍総理の自衛隊明記に疑問を呈した上で九条の改正よりも合区の解消などを優先させるべきだ、と主張しました。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「地震で自粛されてきた論戦が本格的にスタートしましたが、それにしても安倍総理、内外に課題が多いですね。」

星浩「そうですね、憲法や政治姿勢などが焦点ですけども、まああの議院票でね安倍さんが相当リードしてますんでね、まああの安倍さんの勝利は動かないということなんでしょうけれども、むしろ国内それから海外で注目しているのは安倍政権このあとどうなるんだろうなということだとおもいますね。」

皆川玲奈「ええ、政権を取り巻く環境というのは大きく変わってしまっていて、アベノミクスは金融緩和による副作用が指摘され、さらに北朝鮮との関係については圧力から対話モードになりトランプ政権からは蜜月関係から市場開放を強硬に迫られる関係と変わっているんですね。」

星浩「そういうことですね、相当、日本を取り巻く環境は様変わりしていますんでね、こうした中でその論戦を承けてこのあと安倍政権がバージョンアップしていくか、まあいわばその安倍政権 2.0 に党の体制とかですね、政策づくりをしていけるかどうかっていうのが実は影の大きな焦点になっていると私は思いますね。」

スタジオでの星キャスターの星浩「そういうことですね、相当、日本を取り巻く環境は様変わりしていますんでね、こうした中でその論戦を承けてこのあと安倍政権がバージョンアップしていくか、まあいわばその安倍政権 2.0 に党の体制とかですね、政策づくりをしていけるかどうかっていうのが実は影の大きな焦点になっていると私は思いますね。」という発言は、あたかも安倍総理が総裁選に既に勝っているかのような語り口であり、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点からはいささか問題であると言える。それ以外については今回の報道でもって直ちに問題であると言える箇所は見られず他の放送日と併せての評価が必要であると考えられる。

・スウェーデン総選挙：結論→特に問題なし

スウェーデンで総選挙が行われ厳しい移民制限を訴える極右政党スウェーデン民主党が大幅に議席を伸ばしたこと、オーケソン党首は我々が勝者だと演説したこと、今回いずれの政党も過半数を獲得できていないものの極右政党との連立には否定的で新政権発足に向けた交渉は難航しそうであるとのことが津会えられた。このトピックに当てられた時間は24秒で、放送法上の問題は見られなかった。

- ・同時多発テロから 17 年：結論→特に問題なし

クロージングでは星キャスターがスタジオで「明日 9 月 11 日なんですけど、同時多発テロから 17 年も経つんですね。私は当時新聞社の政治部にいましてね何が起きたのかと思ってちょっと驚愕した覚えがありますけれども、その後もなかなか世界の平和は巡ってこないという 17 年間だと思いますね。」と述べていた。このコメントに当てられた時間は 20 秒で、放送法上の問題は特に見られなかったが、明日は同時多発テロについてどのように取り上げられるかは注目である。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・北朝鮮の建国 70 周年記念式典

これまでの核開発などの経緯から一転して今回の抑制的・融和的な式典が行えたことについて、これまでの経緯からくる「しがらみ」などを金正恩党委員長はどのようにクリアして今回の式典を演出させたのだろうか。

- ・日本を巡る国際関係と自民党総裁選

石破元幹事長の「私ざっと長い所国会の答弁に立ってきました。自衛隊違憲じゃないかという議論は一度もなかった。いま、違憲だって自衛隊を思う人は 1 割です。自衛隊にいい印象を持っている人は 9 割です。自衛隊の子どもたちが自衛官の子どもたちが、君のお父さん自衛官なんだってね、誇りを持って胸を張る時代、です。」という発言について、社会政策の対象となるマイノリティとして全体の 1 割程度の集合であるというのは実際にあるケースであり、そうした割合が自衛隊を未だに違憲だと考えている、ということは極めて重大な事実であり、国あるいは政府の基本を定めた憲法において自衛隊を違憲だと考える人が未だに 1 割もいる中で、「自衛隊にいい印象を持っている人は 9 割」だから自衛隊違憲論というのは問題ではない、というのは少し違うのではないだろうか。

- ・スウェーデン総選挙

海外の政治について、安易に右や保守あるいは左やリベラルないし革新という表現を用いるのは、日本での用法と異なることも多く誤解を招きかねないのではないだろうか。そもそも、日本の政治を表現する場合でももはや左右や保革という言葉は世代によって異なる意味内容を持っているのではないだろうか。

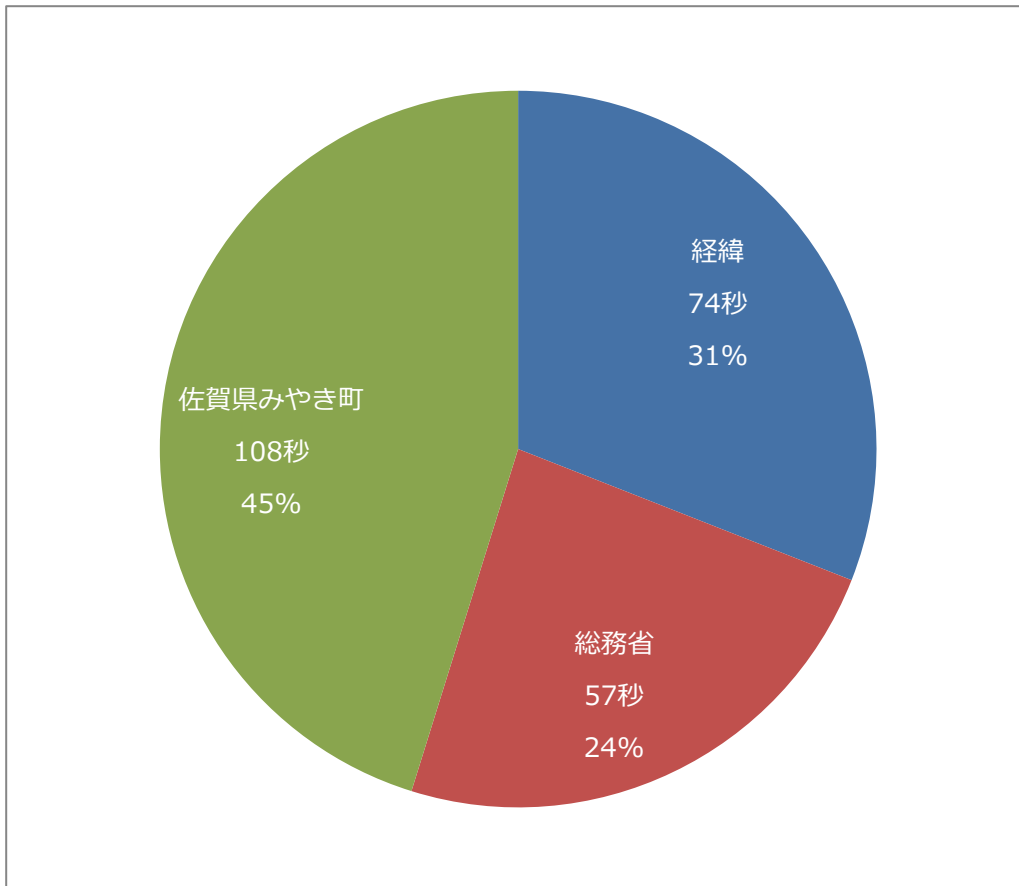
# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年9月11日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：被災地に流れるデマ、ふるさと納税、【追跡】障害者雇用水増しの手口、米朝関係          アントニオ猪木議員が北朝鮮から帰国、北海道震度7で地震調査委          アメリカ同時多発テロ17年NYで追悼式典、天皇皇后陛下の動向</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地・北海道この秋一番の寒さ</li> <li>・被災地に流れるデマ</li> <li>・ふるさと納税</li> <li>・【追跡】障害者雇用水増しの手口</li> <li>・台風21号通過から一週間、京都の名所に残る爪痕</li> <li>・米朝関係</li> <li>・アントニオ猪木議員が北朝鮮から帰国</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today             <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地震とデマ</li> <li>ふるさと納税</li> <li>三田佳子さん次男(38)覚醒剤使用で四度目逮捕</li> <li>北海道震度7で地震調査委</li> <li>アメリカ同時多発テロ17年NYで追悼式典</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> </ul> <p>クロージング：天皇皇后の動向に言及</p>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地に流れるデマ：結論→高く評価</li> </ul> <p>被災地で実際には再開していなかったのに電気の復旧と同時にガソリンスタンドの営業も再開するとの噂が広がりガソリンスタンド前に長蛇の列ができていたこと、自衛隊から聞いたとするまるで地震を予知するかのようなデマがSNS上で広まっていたこと、JNNの取材に対する自衛隊の「事実としてそうした情報を流したことはない、完全なデマ」という回答が伝えられた。なお、ガソリンスタンドの長蛇の列についてはガソリンスタンド所長の「電気が通じてからというお話はご来店されたお客様にしたんですけれども何時とかっていうアナウンスはしてなかったんですよ。」というコメントが取り上げられていた。</p> <p>またスタジオでは雨宮キャスターの「根拠のない嘘やデマに被災者の皆さんは振り回されるわけですから、本当に困りものですよ。」という発言に対して星キャスターが「まあ混乱の中にあっても、一呼吸おいて一人ひとりが情報を見極めると、これしかないんですよ。」と応えていた。</p> <p>このトピックに当てられた時間は143秒で、SNS上から広まったデマについて取材によって真偽を明らかにし</p>		

て報じるという姿勢は放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点から高く評価できるものだった。

・ふるさと納税：結論→特に問題なし

豪華な返礼品が人気となり利用が広がるふるさと納税について、制度の見直しが検討されることとなったことが報じられた。この報道では 239 秒の時間が当てられ概要説明、総務省の動向、佐賀県みやき町の様子が取り上げられていて、それぞれのスポットへの時間配分及び比率は以下の通りであった。



総務省については以下に朱記した場面が取り上げられていた。

ナレ「しかし、この競争に総務省が待ったをかけました。」

野田聖子「ふるさと納税制度は存続の危機にあります、このまま一部の地方団体による突出した対応が続けば制度そのものが否定されるという不幸な結果を招くことになりかねません。」

ナレ「過度な返礼品を送り制度の趣旨を歪めている自治体があるとして制度の見直しを検討すると話しました、ルールを守らない自治体への寄付には税の優遇措置を承けられないようにするというものです。」

ナレ「総務省はこれまで自治体に対し返礼品は寄付額の三割以下に抑えること、さらに地元の特産品を使うことを求めてきました。」

ナレ「しかし」

野田聖子「一部の地方団体では依然として必要な見直しが行われていないことが判明致しました。」



佐賀県みやき町については高額な返礼品や地元産でない品を提供していた自治体の代表例として、以下に朱記した場面が取り上げられていた。

ナレ「高額な返礼品を提供し続けていた自治体は 246。地元産ではない品を提供していた自治体は 190 に登りました。寄付に対して高額な返礼品の割合が高いと指摘された佐賀県みやき町、返礼品の中には食材だけではなくテレビやロボット掃除機など家電まで。どうしてこのような状況になったのでしょうか。」

末安伸之（佐賀県みやき町町長）「4年前に始めたときは返礼率3割でスタートしました。後発、周辺自治体が返礼率5割ぐらいに増えてきた関係で寄付金が極端に落ち込みました。」

ナレ「少しでも、寄付を増やすためには高額な商品を出す必要があったというのです。電化製品を返礼品にしたことについては」

末安伸之「大型店の出店に伴って家電店の皆さんから相談がありました。これ以上もう事業継続は厳しいというものでした、そこで何らかの救済措置としてその返礼品の取扱をさせていただけないかということでした。」

ナレ「みやき町で電器店を営む人は」

記者「このお店の売上の中で何割くらいを占めているのですか。」

佐賀・みやき町の電器店経営者「うーん、3分の1からまあ半分近くいってますね。」

記者「ふるさと納税がなくなると厳しいですか。」

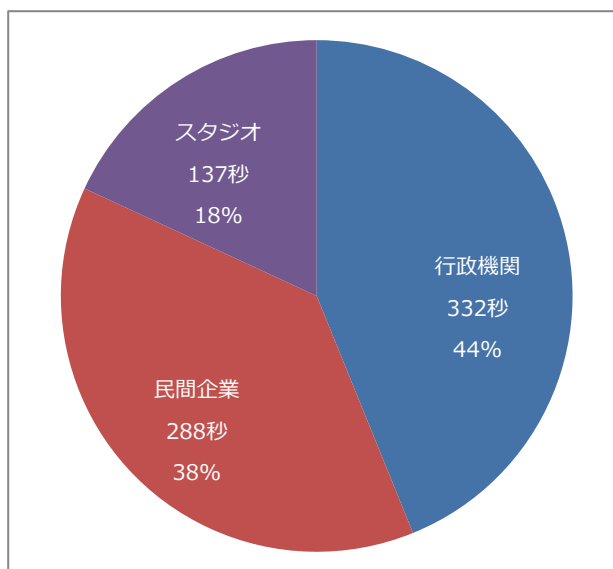
佐賀・みやき町の電器店経営者「うちもまだ借金だしね、本当、困ります。」

ナレ「みやき町では今日を持って一部家電や金券などの返礼品の取り下げを発表しました。」

この報道では総務省による見直し検討が具体的にどのようなものかも明らかになっていないこともあり、特に放送法上の問題は見られなかった。

・【追跡】 障害者雇用水増しの手口：結論→特に問題なし

公的機関での障害者雇用の水増しについて取り上げられていた。このトピックでに当てられた時間は 757 秒であり、行政機関のケース、民間企業の取り組み、スタジオでのやり取りという 3つの場面に大別され、それぞれの場面の時間配分及び比率は以下の通りであった。



行政機関については元裁判所事務官藤川延雄さんへのインタビューから以下に朱記した場面が取り上げられていた。

インタビュアー「よろしくおねがいます。」

ナレ「裁判所の事務官だった藤川延雄さん。問題は藤川さんが横浜家庭裁判所の経理係長だった 23 年前にさかのぼります。藤川さんの近くにいた職員が席を外したとき、上司がやってきて小声でこう切り出したと言います。」

上司の音声「ちょっと言いですか、藤川さんの視力はいくつですか？」

藤川さんの音声「裸眼で 0.0 いくつかです。この眼鏡をかけて 0.4 くらいだと思います。」

上司の音声「実は名前を貸してくれませんか。」

ナレ「周囲に聞こえないように上司は話を続けます。」

上司の音声「役所は体の不自由な人を何%か雇わなければいけないことになっています。しかし、当庁では二人いるだけ。名前を貸すだけで決して不利益を被ることはありません。」

ナレ「近視の藤川さんを障害者の一人としてカウントしようとしたのです。藤川さんは次第に怒りがこみあげたと言います。」

藤川延雄さん（元裁判所事務官）「それはおかしいんじゃないかと。私の目はちゃんと矯正が可能なので視覚障害者ではないと、名前を貸すのはお断りする、と。私の分一人分が結局障害者を雇うことができなくなっちゃうとか、やらなくていいことになっちゃうので。」

ナレ「藤川さんがこの前の都市にも別の上司から名前を貸してほしいと頼まれたと話します。」

藤川さん「組織ですね、組織以外に考えられない、個人でこんなことやるわけがない。」

ナレ「藤川さんはその後体調を崩し、結局問題は有耶無耶になってしまったと言います。」

藤川さん「未だにやっていると言うのでむしろ驚きましたね。一番法律を守らないといけないところがやっていたというのは、しかも一石を投じたのにもかかわらずやっていたというのは非常に残念だし。」

また、こうした水増しが行われていたのは裁判所だけではなく三権の府全てでの水増しを併せて 4000 人を超えること、厚生労働省では弁護士など第三者による検証委員会の初会合が開かれたこと、検証委員会委員長の松井巖元福岡高検検事長の「なぜ、こういうことがおきたのか、その原因をしっかりと検証していくことは必要不可欠である。」というコメントが伝えられた。

また、中央省庁の OB の証言を交えての VTR では以下に朱記した構成で取り上げられていた。

ナレ「中央省庁の OB は水増し工作の実態をこう証言します。」

中央省庁の OB の音声「人事担当が自分や自分たちの周りの人間を障害者にすることが多かった、障害者でない人を障害者にする場合は弱視や難聴など外見上ではわからない障害ということにすることが多い。」

ナレ「障害のない人を意図的に障害者にしていたということです。これまで各省庁は障害者雇用の水増しの原因についてこう説明していました。」

麻生太郎財務相「障害者の範囲や確認方法を誤っている。」

石井啓一国土交通相「幅広く捉えて障害者手帳等の確認を行わずに計上していたことを」

ナレ「どこまでを障害者と呼ぶか、その範囲について拡大解釈や誤解が会ったとしたのです。しかしこの OB はこう指摘します。」

中央省庁の OB の音声「各省庁の人事担当のトップは水増しについては絶対に知っている水増しではなく偽装

だ。」

民間企業の取り組みについては以下に朱記した2つの企業の事例が取り上げられていた。

#### 【事例1】

ナレ「障害者雇用を進める企業の担当者はこう失望感を顕にしました。」

大浜徹（パーソルチャレンジ事業推進部ゼネラルマネージャー）「官民一緒になってやってきているもんだと思っていたのに、まあそうではなかったということが極めて残念ですね。」

ナレ「障害のある従業員が半数以上に登るこの会社では社内に様々な工夫を散りばめています。例えば清掃やコピー作業のマニュアル配置工程ずつ丁寧に作成、また2週間先までの作業予定を大きく掲示するなど業務のほぼすべてを見える化しています。」

佐藤謙介（受託サービス事業部執行役員）「自分がいつ、どんな仕事を任されるのかわからない状態でストレスが強くなってくると、体調を崩してしまうということに繋がりがねませんので長くこの職場で健康的に働いても合うことができるような工夫の一つなのかなと思っています。」

ナレ「一般的な企業における障害者の一年定着率は50%前後と言われていますが、この会社では定着率は95%近くに上ると言います。」

#### 【事例2、シーン1】

ナレ「食品トレイや容器のリサイクル工場で正社員として働く横山初美さん、横山さんには軽度の知的障害があります、この職場で働き始めて3年が経ちました。」

横山初美さん（20歳）「家族とかに親孝行したいなあって思います。」

ナレ「彼女の役割は容器を入れる袋の交換です。職場の責任者は。」

犬飼富茂美さん（サービス管理責任者）「仕事はバッチリ、戦力になっています。」

#### 【事例2、シーン2】

ナレ「リサイクル工場で手際よく食品トレイの分別作業を行っている辺見準一さん、軽度の知的障害と身体障害がありますが、働くことは私生活の充実につながると言います。」

辺見準一さん（37）「友だちができたことが大きいですが、バーベキューとか芋煮会をしています、みんななかよく過ごすのが楽しいです。」

ナレ「一方の横山さん。テキパキと仕事をこなしながらも常に笑顔が絶えません。」

犬飼さん「最初は袋を結ぶのもできなくて、ここで覚えました。」

横山さん「でも、今はだんだんなれてきたのでなれました。」

ナレ「今は毎日仕事に対するやりがいを感じていると言います。」

インタビュアー「ここで働いてよかったなと思えるときってどういうときですか。」

横山さん「お給料をもらった、お給料を見たときだと思います。おばあちゃんとかおじいちゃんとかお母さんとかに感謝で上げているみんな喜んでくれています、もうなんか泣きそうな気持ちになって笑顔になる、また明日も一生懸命頑張ろう、と思えます。」

ナレ「工場の責任者はサポートさえ行えば障害のある人も戦力になると強調します。」

犬飼さん「障害のある方と一緒に働くことを大変だな、とか難しいだろうなということをもしかしたらみなさん、そういうふうには思っていないかもしれないんですが、障害のあるなしにかかわらず当たり前のことを、

働いて生きていくという当たり前のことを実現していきたいなと思います。」

スタジオでは以下に朱記したやりとりが繰り広げられた。

雨宮塔子「民間企業ではルールを守っている、VTR に出てきたさらなる努力をしている企業もある一方でですよ、行政機関はと言うと違反が多いですよ。」

皆川玲奈「そうですね。行政機関と民家員期間ではチェック体制とペナルティに大きな違いがあるんです。まずチェック体制ですが民間企業では厚生労働省が監督をしていて、定期的に報告するのに対し、行政機関はチェックはそれぞれの省庁にお任せ、第三者によるチェックというのはないのですね。また決められた数の障害者を雇わなかった場合、民間企業では一人当たり付き 5 万円を払うなど罰則があるのですが、行政機関はと言うところいったペナルティがないんですね。」

星浩「まあ本来行政機関などはそのお手本を示さなきゃいけないわけですけどもそこは誤魔化していたというわけですから相当悪質ですよ。この問題で深刻なのは行政だけじゃなくて裁判所、それから立法府この事務局も全部広がっていた問事で、すごく範囲が広く不正が広がっていたわけですよ。もう一つはどうやら相当長期間続いていたということでチェックされないまま来たということですね。それからちょっと感じるのですね、この問題に対して政治家の怒りっていうのが、もうちょっと会ってもいいんじゃないか、加藤厚労大臣とかですね、菅官房長官はですね、もっとその怒りを示す必要があると思うんですよ。本来その雇われるべき障害者が雇われなかった、雇用の機会を奪ったわけですからそういう不公平なことが起こったわけですので、これはやっぱりチェックをして検証をしていく、それから場合によっては官僚を叱責するというのはそれこそ政治家の仕事だと思いますね。」

雨宮塔子「政府は来月中に検証結果を報告する方針です。」

この報道について特に放送法上の問題は見られなかった。

・米朝関係：結論→特に問題なし

アメリカホワイトハウスのサンダース報道官はトランプ大統領が北朝鮮の金正恩党委員長からの書簡を受け取り次の首脳会談の要請があったことを明らかにし検討中で既に調整していると述べたこと、ボルトン大統領補佐官はキム党委員長が 9 月下旬の国連総会に合わせたアメリカを訪れトランプ氏と会談することには否定的な見方を示す一方で会談が今年中に解散される可能性はあると思うと述べた、とのことが伝えられた。

またスタジオでは雨宮キャスターの「北朝鮮から要請があったこと、今公表するという事は水面下ではある程度話は進んでいたりするんでしょうか。」という問いかけに対して星キャスターが「そうなんですね、アメリカはですね、その今回北朝鮮に対して首脳会談やってもいいよというのは一種の誘い水ですよ。まああのアメリカは水面下では核施設のリストを出せ、それから非核化への道筋を示せ、とかなり強く迫っているんですね。これに対して金正恩委員長が果たして応じるのかどうかですよ。もし応じるのなら首脳会談やってもいいんですよ、ということなんですよけれども、仮に信じないのであればもしかするともう一回緊張が高まるかもしれない。まあ金正恩委員長がどういう決断をするかなんですよけれども、18 日からの南北首脳会談で方向が見えてくると思いますね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 87 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

・アントニオ猪木議員が北朝鮮から帰国：結論→特に問題なし

北朝鮮の建国 70 年祝賀行事に参加したアントニオ猪木議員が帰国し、リ・スヨン朝鮮労働党副委員長と日朝の議員交流を進める考えで一致したと明らかにしたこと、猪木議員は与党を含む議員訪朝団を結成したいとしていることが伝えられた他、アントニオ猪木参院議員の「議員団の訪朝ということに対して、今年は是非お迎えます、喜んでお迎えます。」というコメントが取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 28 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

・北海道震度 7 で地震調査委：結論→特に問題なし

北海道胆振東部地震について政府の地震調査委員会は地震を起こした断層のズレが地上からおよそ 15 キロの浅い所まで達している可能性があるとの新たな評価を行ったこと、平田直委員長は「今回の地震が近くにある腫瘍活断層の石狩低地東縁断層帯に影響を与えた可能性を考慮すべき」との認識を示したとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 27 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

・アメリカ同時多発テロ 17 年 NY で追悼式典：結論→特に問題なし

アメリカ同時多発テロの発生から 17 年が経ちニューヨークのグラウンド・ゼロでは犠牲者を追悼する式典が開かれていること、式典では飛行機が突入した現地時間午前 8 時 46 分などに併せて黙祷が行われ犠牲者の名前がひとりずつ読み上げられており遺族らが祈りを捧げているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 27 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

・天皇皇后陛下の動向：結論→特に問題なし

番組のクロージングでは星キャスターが「天皇と皇后両陛下が広島、岡山、愛媛をお見舞いになるそうですね、ヘリコプターを使って行かれるそうです。」とコメントしていた。このコメントに当てられた時間は 7 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

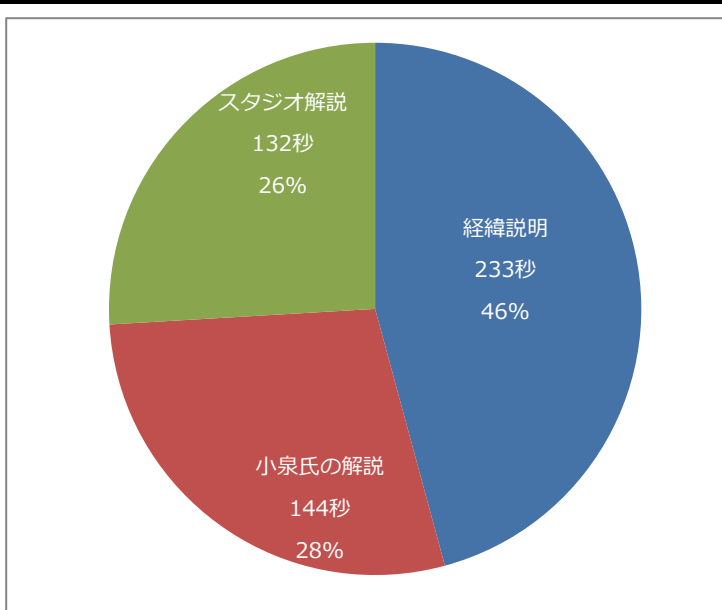
検証者所感

・【追跡】 障害者雇用水増しの手口

省庁では職員に支払われる給料も予算の範囲内で定められており残業代も満額支払われているわけではないという話を聞くことは少なくない。もしかすると行政機関の水増しの背景には、予算の関係で人件費を十分に確保できていないところがあるのではないだろうか。そのあたりについても今度は掘り下げてほしいと感じた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年9月12日
<p>出演者：【キャスター】皆川玲奈、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙</p> <p>【ゲスト】小泉悠（未来工学研究所特別研究員）（VTR 中出演）</p> <p>【お休み】駒田健吾（理由不明）</p>		
<p>検証テーマ：日ロ関係 北方領土問題、自民党総裁選、沖縄県知事戦、トランプ政権暴露本、日中首脳会談</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道大地震</li> <li>・日ロ関係 北方領土問題</li> <li>・自民党総裁選</li> <li>・沖縄県知事戦</li> <li>・「9・11 テロ」から17年</li> <li>・スポーツ界パワハラ問題</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today</li> </ul> <p>北海道地震</p> <p>日ロ関係 北方領土問題</p> <p>トランプ政権暴露本</p> <p>日中首脳会談</p> <p>関西空港再会に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ロ関係 北方領土問題→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。</li> </ul> <p>今回は、現在ロシアで行われている東方経済フォーラムにおいてプーチン大統領から年内の「前提条件なし」での平和条約締結を持ちかけられたことが伝えられた。その一方で、北方領土付近での軍事演習を行うなど日本に対して圧力を大きくかける様子が伝えられた。VTR 中では小泉悠氏が専門家としてコメントを行った。このトピックに当てられた報道時間は509秒で、経緯説明・小泉氏の解説・スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



小泉氏の解説とスタジオ解説の内容は以下の通り。

ナレーター「今回、ロシアが同時期に行う軍事演習からは北方領土に対する強硬姿勢をさらに強めた様子も伺えるといいます。」

小泉「演習の性質を考えると中国が入ってきたのは非常に特殊。政治的に非常にシンボリックな出来事。」

ナレーター「ロシア軍が日米や中国との戦闘を想定して行ってきたこの軍事演習に仮想敵でもあったはずの中国が参加するのは今回が初めて。例えば、尖閣諸島のある東シナ海などで中国軍とロシア軍が連携するようなことは日本にとって想定したくない事態ですが、そんな日本側の懸念も十分把握した上でロシアは中国を演習に参加させていると言います。」

小林「やはり、この全体の舞台装置を見てみると、北方領土に関するロシアのメッセージは非常に強硬。日本側がロシア側の要求を飲まなければ、中国に接近してしまうかもしれないよと。しかも、それが軍事的な面まで及ぶかもしれないという非常に強硬な脅しと言っている。」

ナレーター「そして中国の習近平国家主席との蜜月ぶりを見せつけたプーチン大統領。かたや、安倍総理に対しては突然、北方領土問題の棚上げとも取れる前提条件無しでの平和条約締結を突きつけたのです。プーチン氏の想定外の発言を受け、安倍総理はどう反応したのでしょうか。この後、現地から中継で詳しくお伝えします。」

雨宮「今回のプーチン大統領の提案が出たとき、会場ではどんな反応が出たのでしょうか。取材している黒岩記者に聞きます。黒岩さん。」

黒岩亜純「はい。実はフォーラムの後、司会者に話を聞いてみました。すると、通常、首脳達は何か話したいときは目で合図をしたり、シグナルをくれるそうですけれども、安倍総理は今回は完全に無表情だったということで、反応を聞けるような状況ではなかったということです。プーチン大統領とは信頼関係があるという安倍総理。カメラが向けられたあの場で、突然あの提案が行われるというのは逆に関係が揺らいでいると受け取られても仕方ありません。両首脳は 22 回も会談したということですが、ロシア政権の中からは色々なボールを投げているが反応がないという声も挙がっているということです。その安倍政権の対口外交の行き詰まりを見透かされ、そこに業を煮やした百戦錬磨の大統領がプーチン流の秘策を総理に突きつけた格好です。対口外交の敗北だとい



う専門家の声すら聞こえてきます。ウラジオストックからは以上です。」

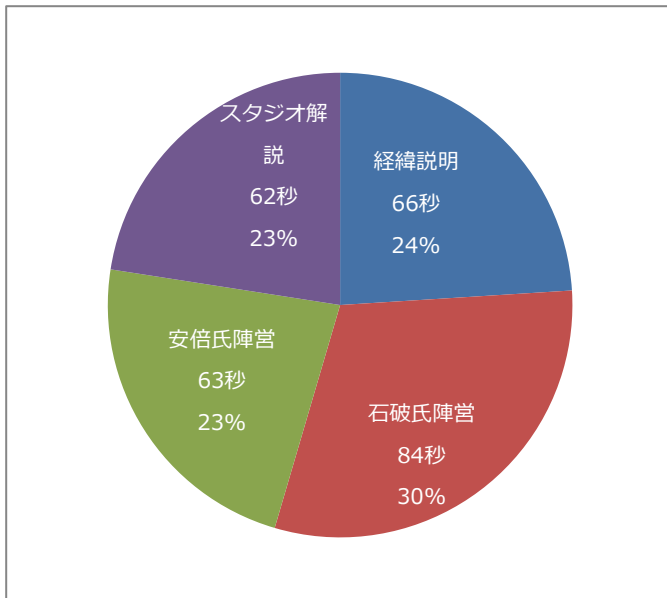
雨宮「プーチン大統領は今思いついたと言ってこの提案をしたそうですが、そのような訳はないですね。」

星「まあ、そうですね。タイミングを図っての発言だと思います。日本周辺では大国の関係が非常に大きく変わっています。アメリカとロシアの関係ではロシア疑惑、アメリカの選挙にロシアが介入したという疑惑がありまして、最悪とされていますし、アメリカと中国との関係も貿易問題と南シナ海問題でそうとうささくれているんです。そこで、ロシアと中国が接近しているという構図になっているわけです。プーチン大統領の今回の発言は中国とうまくいってれば、日本とはうまくいかなくても良いんだぞというシンボルの発言とも言えます。安倍総理はあの会場で一つの異論を挟んでほしかったんですが、そのタイミングがなかなか取れなかったということだと思います。いずれにしても今回の国際会議は、大国が国際関係よりも自国の利害最優先という内向きになっていることを如実に表した国際会議になっていると思います。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・自民党総裁選→結論：他の放送日との比較が必要。

今回は自民党総裁選に関して、石破氏の夫人佳子さんが総裁選挙に協力し、テレビを始めとするメディアに出演する様子がトピックの中心として伝えられた。また、選挙戦の中でいわゆる「空中戦」と呼ばれる SNS などを使った両候補者の取り決めなども紹介された。このトピックに当てられた報道時間は 275 秒で、経緯説明・石破氏陣営・安倍氏陣営・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



スタジオ解説の内容は以下の通り。

雨宮「佳子さんのインタビューご覧頂きましたけれども、星さんは参議院の実力者と言われた青木幹雄さんになぜ、参議院竹下派が石破さん支持に回ったのか、その訳を聞いたそうですね。」

星「そうですね。今回の総裁選のポイントの一つだったわけですがけれども、参議院の竹下派に石破さんの支持を頼んだ理由は 2 つあると言っていました。一つは安倍さんの考えとは違う多様な意見があることを見せなくてはならないということですね。もう一つは、この総裁選で活発な論戦をしないと、来年の参議院選で自民党の存在

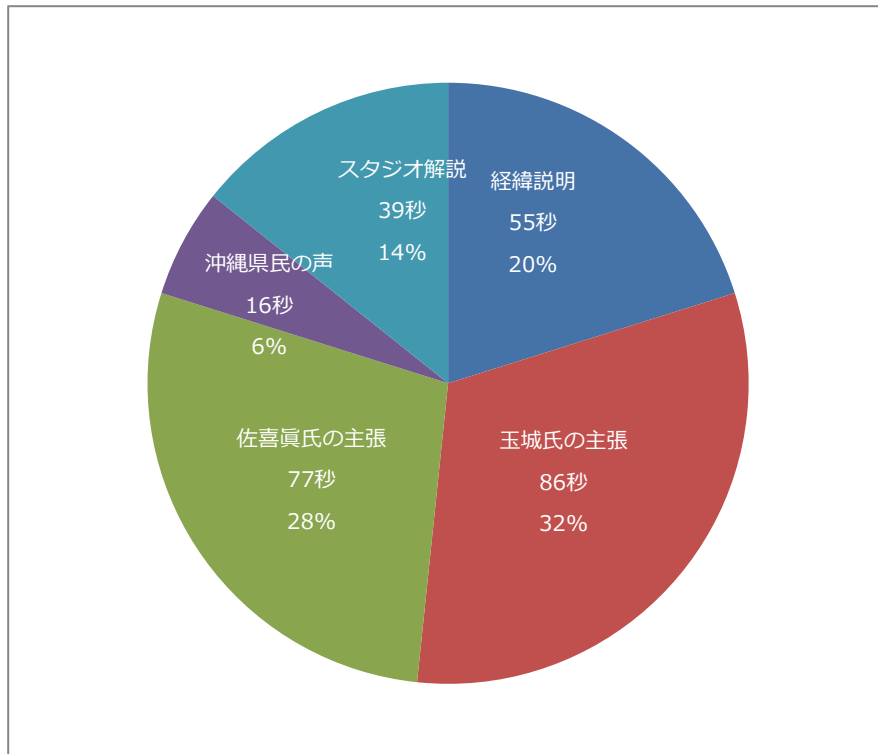


感が薄くなってしまい、苦戦必至だというから自分は石破さんを応援するよう頼んだと言っていました。この総裁選挙の中で自民党は本当に多様なのかを見せられるか、総裁選の論戦と次の人事がポイントになると思います。」

時間配分は概ね公平な内容だが、トピックの中心テーマが石破氏夫人の佳子さんのメディア露出であったため、印象的に石破氏のことが記憶に残る報道であったと言える。現職の安倍氏の対立候補として石破氏の総裁選挙戦の取り組みを紹介したという形ならば、別の日に安倍氏の取り組みも紹介することでバランスが取れると言える。今回は別の放送日との比較が必要との結論に至った。

- ・沖縄県知事戦→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回は沖縄県知事戦の告示日を間近に控え、候補者のうち玉城デニー氏と佐喜眞淳氏の主張について伝えられる内容であった。争点を辺野古移設の問題として翁長前知事の後継者を称する玉城氏と、政権与党の支援を全面的に受ける佐喜眞氏という形で報道された。このトピックに当てられた報道時間は 273 秒で、経緯説明・玉城氏の主張・佐喜眞氏の主張・沖縄県民の声。スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道内容の抜き出しは以下の通り。

ナレーター「特技のギターを演奏する玉城デニー氏。自由党の衆院議員から沖縄県知事戦に立候補を表明しました。」

玉城デニー氏「翁長知事から受け取ったその信念に重ね合わせて、よりデニーカラーを皆さんと作り上げていく新時代沖縄の姿を表していく。」

ナレーター「強く打ち出すのは亡くなった翁長氏の後継者だという点です。先月、任期途中で死去した翁長氏。」

普天間基地を巡り、政府が進める名護市辺野古への移設に強く反対しました。玉城氏も反対の意思を鮮明にしています。」

玉城氏「最大の争点は翁長知事が行政として進めた辺野古の埋め立て承認の撤回、その是非です。」

ナレーター「特技の空手を披露したのは同じく立候補を表明した佐喜真淳氏。普天間基地を抱える宜野湾市の前の市長で、同じく普天間問題には触れますが、言い方は異なります。」

佐喜真氏「(争点はと聞かれた時に?) 普天間飛行場の返還です。危険性の除去。」

ナレーター「普天間基地の返還には賛成ですが、辺野古に移設するかどうかは態度を表明していません。重視するのは政府との対話です。」

佐喜真氏「対立や分断や争いではなく、和・言葉・会話・対話をもって沖縄を良くしていきたい。」

沖縄県民①「明らかに(争点は) 辺野古問題。そこを争点として外すべきではないと思います。」

沖縄県民②「沖縄というところは貧乏でしょ? 親(政府)の言うことを聞かないと小遣いはもらえない。今から沖縄はいっぱい小遣いがある。」

雨宮「辺野古が争点となるだろうという街の声もありましたが、星さんはずばり知事選の争点はなんだと思いますか。」

星「もちろん、辺野古移設問題が大きな争点なんですけれども、この沖縄周辺では北朝鮮の非核化の問題が動き出したり、中国との関係が改善したり、東アジアの関係が大きく動く可能性があるわけです。その中で沖縄は一体どういう役割を担うのかという問題があると思います。亡くなった翁長さんは沖縄が日本とアジアの架け橋になればいいと話していましたけれども、そういう意味で沖縄の将来像というか、沖縄の夢も語っていただきたいと思います。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・トランプ政権暴露本→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回はトランプ政権の内幕を描いた本が出版されたことが伝えられた。政権内部の不和の様子が描かれており、影響が大きくなる予想が伝えられた。このトピックに当てられた報道時間は 24 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・日中首脳会談→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回は安倍首相が中国の習近平国家主席と会談し、来月にも中国を訪問する方向で調整することが伝えられた。このトピックに当てられた報道時間は 24 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨特になし。

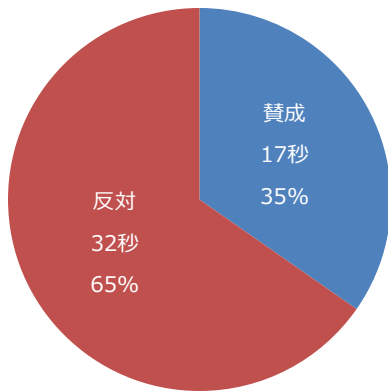
## NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年9月13日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：セリーナ決勝の言動に波紋、授業料国立初の標準超え、沖縄知事選告示、ポストーニク 2018、北朝鮮 ICBM 関連施設の解体を 38North が伝える、豊洲新市場で記念式典		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道胆振東部地震</li> <li>・セリーナ決勝の言動に波紋</li> <li>・授業料国立初の標準超え</li> <li>・沖縄知事選告示</li> <li>・iPhone 新モデル発表</li> <li>・ポストーニク 2018</li> <li>・北朝鮮 ICBM 関連施設の解体を 38North が伝える</li> <li>・スポーツ情報</li> <li>・23Today</li> </ul> <p>北海道胆振東部地震 大阪なおみ笑顔の凱旋 豊洲新市場 成田滑走路が一時閉鎖 関空第一ターミナルあす再開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セリーナ決勝の言動に波紋→結論放送法第四条の見地からは問題なし</li> </ul> <p>全米オープンで大阪なおみ選手と対したセリーナ・ウィリアムズ選手の言動が波紋を呼んでいることについての報道。このトピックスに充てられた時間は258秒であった。セリーナの言動について肯定的な意見を賛成。否定的な意見を反対として集計したところ賛否の時間配分は以下の通りだった。</p>		



賛成意見としてはニューヨークタイムズの「選手やファンはウィリアムズの扱いに女性差別を見た。」という意見やテニスプレイヤーのジョンマッケンロー氏の「私はもっとひどいことをした。女子選手の基準が男子選手の基準と異なるという彼女の主張は間違いない。」とのコメントが紹介されていた。

否定的な意見としてはニューヨークデイリーの「セリーナのラケットが大阪の輝かしい瞬間を奪った。」との見出しやテニスプレイヤーのマルチナナブラチロワ氏の「彼女の性差別に対する意見は一部では正しいが、それを持ち出す時ではなかった。」とのコメントが紹介されていた。

統計としては反対意見が目立つもののテニスプレイヤーや新聞記事、一般市民など報道内において多岐にわたる意見が紹介されており放送法第四条の見地からは大きな問題は見られないものと結論する。

・授業料国立初の標準超え→結論：放送法第四条第一項四号に照らし合わせると不十分

東京工業大学が授業料の値上げを発表したことに関連して大学生の奨学金について焦点をあてた報道。奨学金を借りている学生からは「バイトと奨学金で学費を何とか払っている感じなんで、それがないと学校通えないんで。」という声や「月 88000 円借りているんですけど、研究室で忙しくてバイトが出来ないので生活はかなり厳しい。」などの声が聞かれた。

また神奈川県教職組合に勤める赤崎創さんは「(生徒に対して)その先のことを考えないで借りてしまうと人生棒に振ることにもなりかねないよっていう風な説明はしています。なので本当に学びたいことを応援したいけれどもちょっとお金の面ではしきれないっていうのが本当にもどかしいですね。」と話していた。

一連の話を受けてコメンテーターの星浩氏は「かつてはもうちょっと教育にかける予算多かったですけど、その後どんどん日本の財政は借金をして借金を今返済しなきゃいけないということ、いわゆる財政難になって教育に振り向けるお金がどんどん減っているという状況なんです。学生の負担を減らすには二つ方法があって一つはドイツのように国が全面支援をして授業料を物凄く安くしていくっていうやり方で、もう一つアメリカのようにその授業料高いんだけど、大企業などが寄付して奨学金をいっぱい作ってそれによって学生の負担を減らすっていう制度があるんですけど日本は今どっちでもないって状況になってしまっていてね、学生の負担がどんどん増えちゃっているということなので、とりあえずできることは国の支援を増やすしかないですよ。」とコメント

していた。

全体を通して国に対して学生への支援を増やすことを求めるような内容でその対となる意見が全く見られなかった。また星浩のコメントについても日本の学生の現況について財政難を原因として挙げているにも関わらず国の支援を増やすしかないという最後のコメントは結論ありきで多角性に欠け国民に健全な議論を促すような報道であるとは言い難く放送法第四条第一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」について不十分であると結論する。なおこのトピックスの報道時間は 468 秒であった。

- ・沖縄知事選告示→結論：放送法第四条の見地からは問題なし。

沖縄知事選が 9 月 13 日に告示されたことについての報道。自民党が推す佐喜眞淳候補は「普天間飛行場の返還。キャンプぎざーの返還。那覇軍港の返還。それを全てできるのは私しかいないのです。」と、県政与党などが推す玉城デニー氏は「国頼みではない。ウチナンチュが誇りある豊かさを築きイデオロギーよりもアイデンティティをい大事にしようという翁長知事のことをしっかりと引継ぎ辺野古へ新しい基地を作らせない。」と演説している様子が報じられていた。このトピックスの報道時間は 80 秒で特に賛否が分かれる点は見当たらなかった。

- ・ボストーク 2018→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

ロシアの極東やシベリア地方で行われている冷戦後最大規模となる軍事演習ボストーク 2018 を 13 日プーチン大統領が視察したことについての報道。演習には兵員およそ 30 万人と航空機やヘリコプター 1000 機以上、艦船 80 隻のほか中国軍が初めて参加したことについても併せて報じられた。なおこのトピックスは 35 秒報じられ賛否が分かれる点は見当たらなかった。

- ・北朝鮮 ICBM 関連施設の解体を 38North が伝える→結論放送法第四条の見地からは問題なし

アメリカの北朝鮮分析サイト 38North は首都平壤近郊の工場内で ICBM 大陸間弾道ミサイルに関連する施設が解体されたとする分析を発表したことについての報道。38 North は、はっきりした目的は分からないが弾道ミサイル開発計画に関連している可能性があるとしていた。このトピックスの報道時間は 32 秒で特に問題点は見当たらなかった。

- ・豊洲新市場で記念式典→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

東京の築地から移転される豊洲の新市場で来月の開場前に記念式典が行われたことについての報道。報道時間は 22 秒で問題点や賛否が分かれる点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年9月14日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：北海道胆振東部地震と住民の怒り、自民党総裁選、トランプ政権と中間選挙 杉田水脈議員、捕鯨問題		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道胆振東部地震と住民の怒り</li> <li>・自民党総裁選</li> <li>・トランプ政権と中間選挙</li> <li>・イグノーベル賞で日本が12年連続で受賞</li> <li>・「筑紫哲也 NEWS23 キャスター」浜尾朱美さん死去 57歳</li> <li>・築地市場のマグロ競り見学が移転で見納め、あす終了</li> <li>・スポーツ報道 イチロー選手への独占インタビュー</li> <li>・23Today 北海道胆振東部地震 自民党総裁選 関空第1ターミナル一部再開、全面復旧への見通しも 杉田水脈議員 捕鯨問題</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道胆振東部地震と住民の怒り：結論→特に問題なし                      北海道胆振東部地震について土砂崩れは厚真町を中心に少なくとも3800箇所できちん起きていたことが新たにわかったこと、水量発電所が再稼働したことをうけて政府は北海道での2割の節電目標を撤廃すると発表したことが報じられた他、今回の地震で住民から怒りの声が上がっていることも伝えられ、昨夜行われた市の説明会での以下に朱記した様子を取り上げられていた。                      ナレ「一方、住民から怒りの声が上がったのは札幌市清田区です。昨夜、市の説明会で」                      参加した住民「4年前に私どもね道と区に話に行っているんです。地盤沈下始まっているよ、と。けどもその後全く工事らしいものが始まっていない。天災けども人災の極みじゃないかと、そこ知りたいんです。」                      市の担当者「現在どのような地域がどのような状況になっているのかということをいま調査をしている。」                      "ナレ「清田区では2003年の十勝沖地震でも液状化の被害が発生。しかし、住民から指摘を受けても対策工事は行われていませんでした。さらに」                      参加者「これから冬に向かうんですよ。それでこれから屋根に雪がつもります、そしたらいま、地盤沈下している所、これから沈みます。」</li> </ul>		

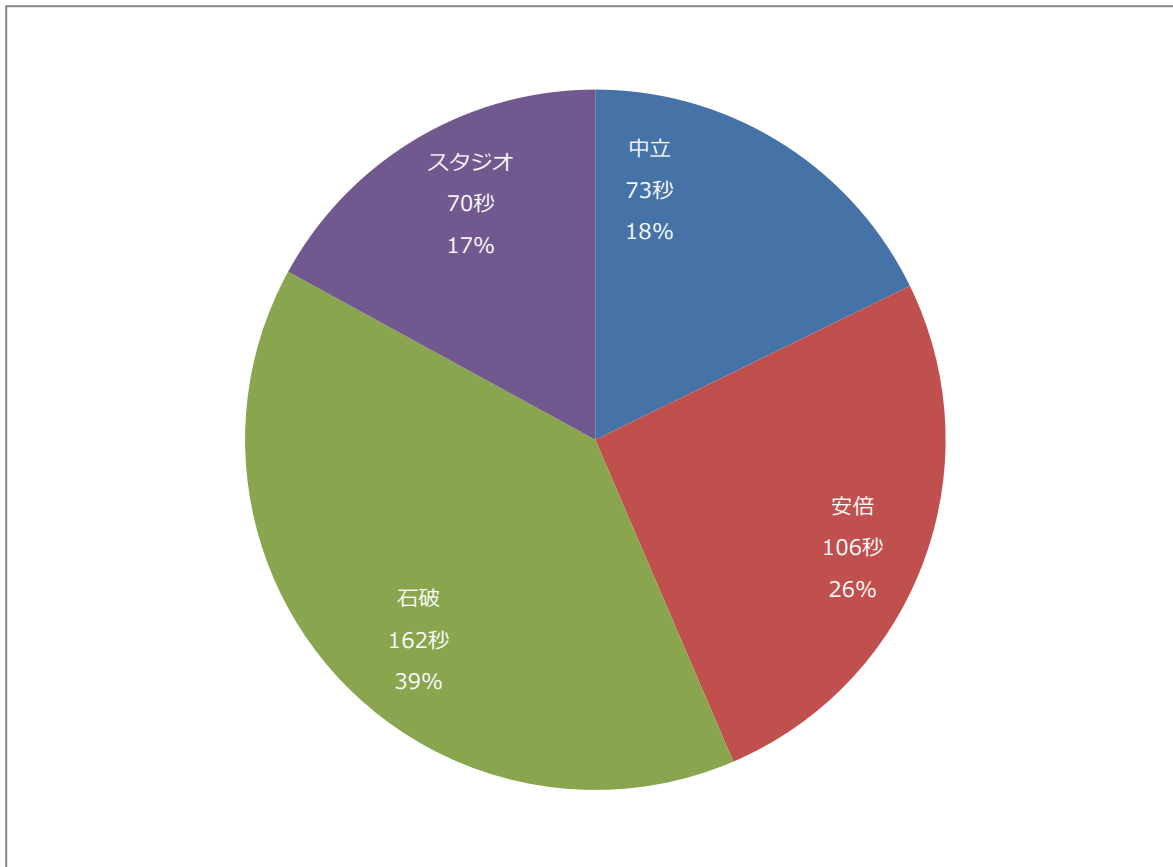


市の担当者「これから数ヶ月で雪が降るということは私共も考えております。今の道路の沈下とか陥没状況の中で除雪が得るかと言うと当然できない。」

このトピックに当てられた時間は 202 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

- ・自民党総裁選：結論→他の放送日とあわせての判断が必要

投票日が来週に迫る中で安倍総理と石破元幹事長の討論会が初めて行われたことについて報じられた。このトピックに当てられた時間は 411 秒で、中立的な場面、安倍総理の主張を伝える場面、石破元幹事長の主張を伝える場面、スタジオでのやり取りという場面に大別された。それぞれの場面の時間配分と比率は以下の通りであった。



討論会については以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

記者「石破さんは今度の総裁選に出る、何のためなのか、安倍晋三は良くないのか、人間が、政策が良くないのか。」

ナレ「記者の挑発的な問いかけに思わず困惑した表情を浮かべた石破元幹事長。さらに質問は森友加計問題を念頭にした文脈に。」

記者「これは正直公正ということを旗印に掲げられておられるというのはおそらく安倍政権は正直公正ではないという前提なんだろう。なぜ、安倍さんじゃなくて自分じゃなきゃいかんといことなんですか。」

石破茂「それは同じ自民党ですから、ええ、方向性が違うはずはない。しかしかんにして、この人口急減少時代、

経済を維持し、人をひとりひとり幸せにしていくかというやり方は私は地方で中小企業であり農林水産業である。」

ナレ「あえてもりかけに触れずかわした石破氏。」

ナレ「一方、この問題について問われた安倍総理は従来の答弁を繰り返します。」

安倍総理「私の妻が名誉校長を務めていた。それは確かに反省しなければいけないことだろう、しかしですね、これは倉重さんが認めたように、私がなにかそういう金銭的なものを頂いて政治的に便宜を図った、という、いわばそういう贈収賄事件ではない。」

ナレ「安倍氏が実績を強調する経済政策については。」

石破「企業の稼ぎの中から労働者の方々に回るお金の割合、労働分配率って言います。43年ぶりの低水準、これは一体どういうことなのか。」

安倍「景気回復していく局面においては労働分配率は下がっていきます。しかし、人件費、給料も増えている。」

ナレ「外交問題で両者の違いが見えてきたのは、北朝鮮に対するアプローチでした。」

安倍「先般、米朝首脳会談が行われました、そこで拉致問題についての私の考え方、日本の考え方を金正恩委員長に伝えました。」

ナレ「トランプ大統領との個人的な信頼関係を強調する安倍総理を意識してか」

ナレ「石破氏は」

石破「拉致問題は日本の話しなので外国にお願いしてどうのこうのという話ではありません。」

ナレ「具体的な手法を巡っても」

安倍「私自身が金正恩委員長と向き合いこの問題を解決しなければならないと思っています、あらゆるチャンスを見逃さず。」

記者「進んでいるんですか？」

安倍「これはあらゆるチャンスを見逃さずにそのチャンスをつかみたいと思っています。あの、いま、どういう交渉をしているのかはもちろん申し上げられません。」

記者「石破さんならどうします」

石破「それは、平壤に日本の、東京に北朝鮮の連絡事務所を置くところから始めなければいけない。お互いに連絡事務所を持つ、向こうの出す情報をきちんと日本国として確認をする、その末にその解決はあるのだと思っております。」

ナレ「また、憲法改正を巡っては」

ナレ「石破氏がやり方に異議を唱えました。」

安倍「憲法改正に挑戦をし、国民の皆さんとともに日本の新しい時代を切り開いていく、決意であります。」

石破「国民に向けてひとりひとり誠実な説明なくして私は憲法の改正なんてやっていいとは思わない。そういうやり方が、方法論として異なる。」

ナレ「そして、もっとも両者の意見が対立したのは討論の時間を確保するために総裁選の期間を延期すべきかどうかについてでした。」

石破「災害対応も大切です。だったら伸ばせばいいじゃないですか、そのいちばん大事な期間に外遊を5日なされ、そうであれば外遊は大切でしょう。期間を変えればいいじゃないですか。なんで東京の街頭もなくなり大阪

の街頭もなくなり、国民から逃げてはいけない。」

安倍「石破さんが延期しろとおっしゃいましたが、23日からですね、一方私は国連総会に言って日米首脳会談等もあるんです。いわば現職でやっている時に延ばすという期間は石破さん、そりゃそう簡単にすぐ出てこないですよ。」

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「2時間の討論でしたが、星さんはどこに注目しましたか？」

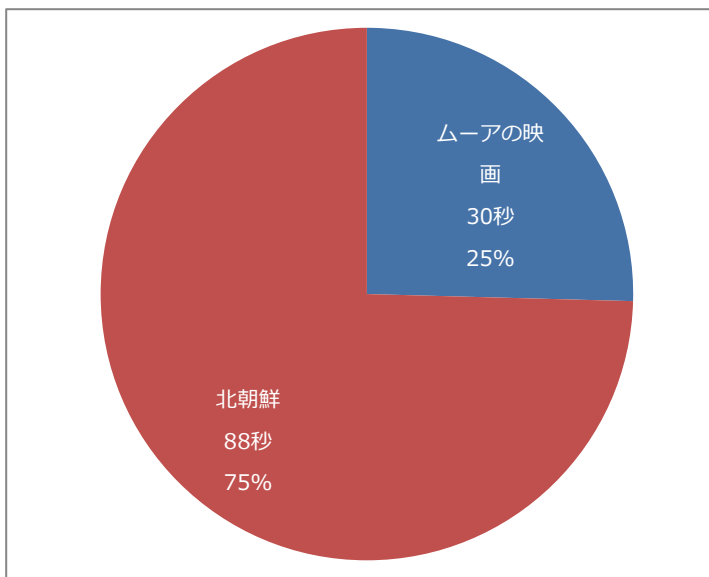
星浩「あの、ちょっとこういき違いと言いますかね、噛み合わなかった面もあるんですよ。例えばその憲法問題はですねお互いその持論を述べたんですけども、石破さんは原則論、安倍さんは現実論なんですね、石破さんはその9条の本質を変えないで自衛隊を盛り込んでも本質は変わりませんよ、という話なんです、石破さんはね。ええ、まあこれは安倍さんに対する批判なんですけれども、安倍さんの方は政治家はその評論家とか学者じゃないんだと、論理的に正しいことを言っていれば済むということではないってことで今その三分の二を衆参で持っていますからね、今こそやるチャンスなんだっていうまあ現実論なんですね。まあそういうことで噛み合わない面もありました。それから森友加計問題もややこう言いっぱなし、麻生さんの責任問題もやや言いっぱなし、っていうこともあって、非常に噛み合わなかったんで、これから投票に向けてですね、もうちょっと噛み合う議論をしてもらいたいと思いますね。はい。」

雨宮塔子「そして NEWS23 では来週月曜日に安倍石破両候補をスタジオにお招きして討論を行います。ぜひご覧ください。」

今回の報道単体として放送法違反が疑われる箇所は見られなかった。報道の公平性については他の放送日と併せての評価が必要であるとする。

・トランプ政権と中間選挙：結論→特に問題なし

アメリカの中間選挙が11月に迫っている中でマイケル・ムーア監督のトランプ批判映画が公開されたこと、トランプ氏に取り組む北朝鮮問題の動向について報じられた。このトピックに当てられた時間は118秒でムーア監督のトランプ批判映画と北朝鮮問題の時間配分及び比率は以下の通りであった。



ムーアの映画についてはインタビューに答えてのマイケル・ムーア監督の「これまで映画一本とブロードウェイの劇をやってきたけどトランプは倒せなかった。だからこの映画でもう一度トランプに挑むんだ。」というコメントが取り上げられていた。

北朝鮮の問題については、中間選挙を見据えて目に見える成果が求められているものの一つが北朝鮮の完全な非核化であること、トランプ政権が北朝鮮の非核化の実現に向け周辺国への接触も進め中国や韓国を訪問していたアメリカのビーガン北朝鮮担当特別代表が午後に初来日したこと、一方の北朝鮮は来週の南北首脳会談を目に動きを加速させていて今日北朝鮮で南北共同連絡事務所が開かれここには南北の当局者およそ 40 人が常駐し、交渉や連絡などを行うとのことが報じられた。また、ビーガン北朝鮮担当特別代表の「日米共通の関心事（北朝鮮など）にとともに取り組んでいくのを楽しみにしています。」という発言が取り上げられていた。

この報道について放送法上の問題は特に見られなかった。

・杉田水脈議員：結論→特に問題なし

LGBT、性的少数者について子どもを作らないから生産性がないという主張で批判を浴びた自民党の杉田水脈衆院議員が騒動後初めて姿を見せましたが撤回する考えはないのかとの問いには答えなかったとことが伝えられると共に、記者が「LGBTの方になにかありませんか、どういう思いでおっしゃったのでしょうか。お答えになりませんか。」と問いかけるシーンが取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 27 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・捕鯨問題：結論→特に問題なし

ブラジルで開かれている IWC、国際捕鯨委員会の総会で日本が提案していた商業捕鯨の再開が反対多数で否決されたこと、日本は今後 IWC を脱退していくことも視野に対応を検討していくことになるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・自民党総裁選

総裁選の期間について石破元幹事長が「災害対応も大切です。だったら伸ばせばいいじゃないですか、そのいちばん大事な期間に外遊を 5 日なされ、そうであれば外遊は大切でしょう。期間を変えればいいじゃないですか。なんで東京の街頭もなくなり大阪の街頭もなくなり、国民から逃げてはいけない。」と発言していたが、聞いて非常に違和感を覚えた。総理が外遊を行うことで総裁選で街頭ができなくなるということであれば、それは石破氏にとっては対立候補が有権者に訴えることができない日にも有権者に直接訴えることが可能という意味ではチャンスなのではないだろうか。それを「国民から逃げてはいけない」と批判するのは違和感を覚えた。